

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 萩原電気株式会社

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 福嶋 洋二

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 052-931-3511

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	33,589	13.1	568	△27.5	549	△27.3	296	△29.2
23年3月期第2四半期	29,700	16.1	783	601.5	755	900.0	418	2,086.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 255百万円 (△32.0%) 23年3月期第2四半期 375百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	44.24	—
23年3月期第2四半期	62.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,108	16,773	46.5
23年3月期	36,198	16,618	45.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,773百万円 23年3月期 16,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
24年3月期	—	14.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	18.9	1,450	△1.1	1,400	△2.5	750	1.6	112.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,908,000 株	23年3月期	6,908,000 株
24年3月期2Q	212,235 株	23年3月期	212,207 株
24年3月期2Q	6,695,770 株	23年3月期2Q	6,695,831 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年12月7日(水)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による急激な落ち込みから持ち直しの動きを続けてまいりました。

当社グループと関わりの深い自動車業界においても、東日本大震災によって陥っていた部品不足の解消が前倒して進行し車両生産の正常化が図られるなど、堅調に推移してまいりました。

当社グループにおきましても、第1四半期まではお客様の減産の影響を受けて需要が減少したものの、7月以降需要が大きく改善する中、商材の確保に努め売上高の拡大を図るとともに、継続的なコスト削減を推進し、収益の改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、仕入先の統合による商権拡大も寄与し335億89百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。しかしながら利益面においては商権拡大に伴う各種費用の増加もあり、営業利益は5億68百万円（前年同四半期比27.5%減）、経常利益は5億49百万円（前年同四半期比27.3%減）、四半期純利益は2億96百万円（前年同四半期比29.2%減）となるなど、増収減益の結果となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサ、システムLSI、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ、スイッチ等の販売ビジネス、システムLSI設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、自動車の生産台数が回復したことにより車載用MPU（マイクロプロセッサ）を中心に集積回路・半導体において需要が伸張したほか、民生向けやOA用途向けの需要を取り込んだことにより、デバイスビジネスユニット事業の連結売上高は279億55百万円（前年同四半期比13.6%増）、営業利益は7億91百万円（前年同四半期比28.8%減）となりました。

(ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたIT機器の提供やアプリケーション開発をはじめとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やITプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、東日本大震災の影響等により不要不急の投資には抑制傾向が見られたものの、円高等による先行き不透明感から更新の必要な設備投資・情報化投資の前倒しの動きに合わせ、FA・計測分野やITプラットフォーム基盤構築分野での積極的なソリューション提案営業を展開し一定の需要を確保したことや、海外需要が堅調な工作機械関連企業のお客様への売上の増加などにより、ソリューションビジネスユニット事業の連結売上高は56億33百万円（前年同四半期比10.9%増）、営業利益は2億37百万円（前年同四半期比144.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて90百万円減少し361億8百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億18百万円増加し312億65百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7億3百万円および商品及び製品が4億18百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が14億49百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億8百万円減少し48億43百万円となりました。これは主に、無形固定資産が58百万円および投資その他の資産が2億30百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億44百万円減少し193億35百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15億72百万円減少し161億63百万円となりました。これは主に、短期借入金が4億円および1年内返済予定の長期借入金が11億50百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13億27百万円増加し31億71百万円となりました。これは主に、長期借入金が13億50百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億54百万円増加し167億73百万円となりました。

この結果、自己資本比率は46.5%（前連結会計年度末は45.9%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、円高や個人消費の鈍化、海外景気の減速など景気の下振れ要因は多く、より不透明感を強めながら推移するものと思われます。

当社グループといたしましては、売上高の伸張や経費抑制のための各種施策をグループ一体となって推進し、企業体質の強化と業績の向上に努めてまいります。

このような状況のもと当社グループの平成24年3月期の業績予想は次のとおりであります。

なお、平成23年10月11日に発表しました業績予想からの変更はしておりません。

連結売上高	750億00百万円（前期比 18.9%増）
連結営業利益	14億50百万円（前期比 1.1%減）
連結経常利益	14億00百万円（前期比 2.5%減）
連結当期純利益	7億50百万円（前期比 1.6%増）

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間から、萩原電気韓国株式会社を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間から、萩原貿易（上海）有限公司を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。

なお、いずれも特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,841	2,137
受取手形及び売掛金	19,184	20,633
商品及び製品	8,072	7,654
仕掛品	344	290
原材料及び貯蔵品	124	132
その他	480	418
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	31,046	31,265
固定資産		
有形固定資産	2,554	2,533
無形固定資産	736	678
投資その他の資産		
その他	1,872	1,643
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	1,861	1,630
固定資産合計	5,151	4,843
資産合計	36,198	36,108
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,214	10,298
短期借入金	3,800	3,400
1年内返済予定の長期借入金	2,450	1,299
未払法人税等	444	211
受注損失引当金	—	1
その他	827	952
流動負債合計	17,736	16,163
固定負債		
長期借入金	1,075	2,425
退職給付引当金	420	397
役員退職慰労引当金	299	310
その他	49	38
固定負債合計	1,844	3,171
負債合計	19,580	19,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,439	2,439
資本剰余金	2,884	2,884
利益剰余金	11,561	11,756
自己株式	△209	△209
株主資本合計	16,675	16,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	40
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△127	△138
その他の包括利益累計額合計	△56	△97
純資産合計	16,618	16,773
負債純資産合計	36,198	36,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	29,700	33,589
売上原価	26,790	30,452
売上総利益	2,909	3,136
販売費及び一般管理費	2,125	2,568
営業利益	783	568
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	5	6
受取補償金	0	7
その他	18	16
営業外収益合計	27	32
営業外費用		
支払利息	33	32
為替差損	17	9
その他	4	8
営業外費用合計	55	50
経常利益	755	549
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	6
貸倒引当金戻入額	2	—
過年度損益修正益	8	—
特別利益合計	11	6
特別損失		
固定資産処分損	0	6
投資有価証券評価損	3	6
会員権評価損	—	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
特別損失合計	7	15
税金等調整前四半期純利益	759	541
法人税等	341	245
少数株主損益調整前四半期純利益	418	296
四半期純利益	418	296

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	418	296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	△29
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△15	△11
その他の包括利益合計	△42	△41
四半期包括利益	375	255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375	255
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	759	541
減価償却費	156	165
固定資産除売却損益 (△は益)	0	6
会員権評価損	—	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	1
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	11
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△21	△22
受取利息及び受取配当金	△9	△8
支払利息	33	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	6
売上債権の増減額 (△は増加)	1,377	△1,449
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,433	464
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,468	86
その他	△174	200
小計	△767	32
利息及び配当金の受取額	9	8
利息の支払額	△33	△32
法人税等の支払額	△67	△424
営業活動によるキャッシュ・フロー	△858	△415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100	100
投資有価証券の取得による支出	△23	△23
投資有価証券の売却による収入	—	48
有形固定資産の取得による支出	△16	△31
無形固定資産の取得による支出	△17	△58
その他	51	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	93	30
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△400
長期借入れによる収入	—	1,800
長期借入金の返済による支出	△200	△1,600
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△79	△100
その他	△5	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285	△307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,066	△703
現金及び現金同等物の期首残高	4,776	2,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,710	2,067

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイスビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネスユニッ ト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,619	5,081	29,700	—	29,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	0	29	△29	—
計	24,648	5,081	29,729	△29	29,700
セグメント利益	1,111	97	1,209	△425	783

(注) 1 セグメント利益の△425は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイスビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネスユニッ ト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,955	5,633	33,589	—	33,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	7	44	△44	—
計	27,992	5,640	33,633	△44	33,589
セグメント利益	791	237	1,028	△460	568

(注) 1 セグメント利益の△460は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。